

南魚沼市「週休2日取得モデル工事」（令和7年4月試行）実施要領

1 目的

建設産業において担い手確保・育成を進めるためには、労働環境の改善等を推進していく必要があり、「働き方改革」が急務になっている。

南魚沼市では、官民一体となった建設産業の「働き方改革」が加速するよう、令和4年度から「週休2日取得モデル工事」の試行を実施してきたところだが、更なる週休2日の浸透を図るため「週休2日取得モデル工事」の対象範囲を拡大し、本要領により試行する。

2 発注方式

発注者が工事を「週休2日取得モデル工事」に指定して発注する「発注者指定型」とする。

3 適用日

令和7年4月20日以降に入札の公告又は入札の通知を行う土木工事に適用する。

4 試行対象工事及び試行対象外工事

(1) 試行対象工事

原則として、入札の公告又は入札の通知を行う工事で、当初設計額が130万円超の現場閉所による週休2日取得が可能な全ての土木工事を対象とする。

(2) 試行対象外工事

発注者が「週休2日取得モデル工事」に適さないと判断した工事は対象外とする。また、以下のいずれかに該当する工事は、原則として対象外とする。

ア 緊急性を要する場合や社会的要請等により、週休2日の確保が妥当でないと判断される工事

イ 現場施工期間が休工日を含めて7日間未満の工事

5 「週休2日取得モデル工事」の試行内容

【工事現場】

(1) 原則、対象工事現場において、完全週休2日^{※1}の現場閉所^{※2}を確保することとする。

(2) 地元調整などの理由により、やむを得ず完全週休2日の現場閉所を確保できない場合は、振替休日により、週休2日（4週8休相当^{※3}）の現場閉所を確保するものとする。

※1 完全週休2日とは、毎週2日の休日を確保することをいう。

※2 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検及び交通誘導警備員による交通規制等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

※3 4週8休相当とは、対象期間（年末年始6日間・夏季休暇3日間等を除く）において28分の8以上の休日を確保（現場閉所率28.5%以上）することをいう。また、便宜上「通期の週休2日」と表記することがある。

【技術者】

対象者は、現場代理人・主任技術者・監理技術者とし、週休2日（4週8休相当）を確保するものとする。（内業のみの日は勤務日として扱う。）

6 試行の流れ

設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・機械経費（賃料）・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。なお、労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者（下水道）とする。

(1) 工事発注時

ア 発注者は「4週8休相当以上の現場閉所を達成した場合」の標準単価を計上するとともに、該当の補正係数を労務費・機械経費（賃料）・市場単価・標準単価・間接工事費率に乗じて設計し、予定価格を算出する。補正係数は以下のとおり。

【4週8休相当（通期の週休2日）以上の現場閉所を達成した場合の補正係数】

- ・労務費 : 1.02
- ・機械経費（賃料）: 1.02
- ・共通仮設費率 : 1.02
- ・現場管理費率 : 1.03
- ・市場単価 : 別紙「市場単価の補正係数一覧」による
- ・標準単価 : 別紙「標準単価の補正係数一覧」による

イ 発注者は、設計書に『「週休2日取得モデル工事」（令和7年4月試行）特記仕様書』を添付する。

(2) 工事契約後の初回打合せ

ア 契約後すみやかに発注者指定型の「週休2日取得モデル工事」であること及び実施に向けた課題有無を受発注者で確認する。

イ 課題がある場合は打合せ簿により協議及び検討を行い、解決を図る。

(3) 初回打合せ～実績確認

ア 受注者は、施工計画書の提出時に、工事現場及び技術者の週休2日の取得が確認できる工程表^{※4}（任意様式）を監督員へ提出する。

工事現場及び技術者ともに4週8休相当（通期の週休2日）以上の計画とする。

※4 4週8休相当以上の現場閉所を確保する計画とし、休日に偏り等（工期の始まりや工事の終盤での偏った休日の設定）が生じないように、留意すること。また、「週休2日取得モデル工事」の実施は繰越

理由にならないので、留意すること。

イ 受注者は、「週休2日取得モデル工事」である旨（任意様式）を、工事看板等で施工現場に掲示する。

ウ 監督員は、緊急時等やむを得ない場合を除き、休日の前日等に、休日中の作業が発生するような指示等を行わないものとする。

エ 発注者は必要に応じ、休日の取得状況及び工程の進捗状況について確認する。

オ 受注者は、作業日報・出勤簿等により、工事現場及び技術者の休日取得実績が確認できる様式「休日取得実績表」を作成し、現場完了日以降、監督員へすみやかに提出する。

カ 発注者は、工事現場及び技術者の週休2日の確保状況を以下の≪【工事現場】の確認方法≫及び≪【技術者】の確認方法≫により確認する。

キ 月単位の週休2日（現場閉所）^{※5}及び技術者の週休2日取得実績については、設計変更の対象にはしないものとするが、工事成績評定の評価材料とする。

※5 月単位の週休2日（現場閉所）とは、対象期間において、すべての月で4週8休相当の休日（現場閉所）を確保することをいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

≪【工事現場】の確認方法≫

現場閉所実施日数(b) ≧ 実施対象期間(a)^{※6} から算出される現場閉所日数
(= 実施対象期間(a) × 8 / 28)

※6 実施対象期間(a)とは、現場着手日^{※7}から現場完了日^{※8}のうち、年末年始6日間・夏季休暇3日間等^{※9}を除いた期間をいう。

※7 現場着手日とは、工事施工区域内で何らかの作業に着手した日をいう。

※8 現場完了日とは、工事施工区域内で全ての作業が完了した日をいう。

※9 年末年始6日間・夏季休暇3日間等とは、年末年始6日間・夏季休暇3日間のほか、以下の期間が含まれる。

- ・工場製作のみの期間
- ・工事事故等による不稼働期間
- ・天災（豪雨、出水、土石流、地震、豪雪等）に対する突発的な対応期間
- ・受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間
- ・工事の全面中止期間
- ・その他、外的要因により現場が不稼働となる期間

≪【技術者】の確認方法≫

対象者休日取得日数 ≧ 実施対象期間(e)^{※10} から算出される対象者休日日数
(= 実施対象期間(e) × 8 / 28)

※10 実施対象期間(e)とは、契約日から工期末のうち、年末年始6日間・夏季休暇3日間等^{※9}を除いた期間をいう。

《参考イメージ》



※年末年始・夏季休暇等を挟む場合は、対象期間より除くこと。

(4) 設計変更

発注者が現場閉所状況を確認した結果、現場閉所日数が4週8休相当（通期の週休2日）に満たない場合には、当初設計額の補正分を減額変更する。

(5) 竣工検査

ア 受注者は、上記6(3)オで監督員に提出済みの「休日取得実績表」を竣工書類に添付する。

イ 受注者は、竣工検査終了後すみやかに「週休2日取得モデル工事」アンケート（様式1）に記入し、監督員に電子データを提出する。

(6) 工事成績評定

発注者は、南魚沼市建設工事成績評定規程に基づく工事成績評定において評価する。

「週休2日取得モデル工事」のうち、工事成績の評定対象とする工事は、最終請負金額が1,000万円以上の請負工事とし、現場閉所等の状況に応じて以下のとおり評価を行う。

○月単位の週休2日（現場閉所）を行った場合は工事成績評定の「創意工夫」項目を加点評価する。

○施工計画書に定めた休日予定のとおり休日の確保（現場閉所）を行った場合は「工程管理」項目の評価対象とする。

○工事現場の閉所に加えて技術者においても週休2日を確保するなど、他の模範となるような積極的な取組が見られた場合は「工程管理」項目の評価対象とする。

○提出された工程表が4週8休相当（通期の週休2日）を前提としていないなど、明らかに週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合には減点措置を行う。

工事成績評定の内容

主任監督員 「創意工夫」	主任監督員 「工程管理」
月単位の週休2日（現場閉所）を達成	施工計画書に定めた休日予定のとおり に休日の確保を行っている。
0.4点（+1点）	評価対象項目に○

総括監督員 「工程管理」	総括監督員 「法令遵守等（その他）」
・ 工程管理に係る積極的な取組が見られた。 ・ 施工計画書に定めた休日予定のとおり、 休日の確保を行うことに加え、他の模範と なるような取組を実施した。	提出された工程表が通期の週休2日を前提 としていないなど、明らかに週休2日に取 り組む姿勢が見られなかった場合に、点数 を減ずる。
評価対象項目に○	減点措置

7 その他

補正係数は、別紙「週休2日補正係数一覧表」のとおりとする。

運用の詳細は、新潟県が定める「週休2日適用工事（現場閉所）」（令和6年10月）実施要領の規定のうち、本実施要領と同様の規定に係る運用に関する部分を準用するものとする。

週休 2 日補正係数一覧表

名称	補正係数（通期の週休 2 日）
労務費	1.02
機械経費（賃料）	1.02
共通仮設費率	1.02
現場管理費率	1.03
市場単価	「市場単価の補正係数一覧」のとおり
標準単価	「標準単価の補正係数一覧」のとおり

市場単価の補正係数一覧

1 土木工事

名称	区分	補正係数 (通期の週休2日)
鉄筋工		1.02
鉄筋工(ガス圧接工)		1.02
インターロッキングブロック工	設置	1.01
	撤去	1.02
防護柵設置工(ガードレール)	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置	1.00
	撤去	1.02
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	設置	1.02
	撤去	1.02
防護柵設置工(落石防止柵)		1.01
防護柵設置工(落石防止網)		1.01
道路標識設置工	設置	1.00
	撤去・移設	1.02
道路付属物設置工	設置	1.01
	撤去	1.02
法面工		1.01
吹付砕工		1.01
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		1.02
道路植栽工	植樹※1	1.02
	剪定※2	1.02
公園植栽工		1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02
橋面防水工		1.01
薄層カラー舗装工		1.00
グレーピング工		1.00
軟弱地盤処理工		1.01
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)		1.01

※1 支柱設置、支柱撤去、地被類植付工、移植工(掘削工)を含む。

※2 施肥、抜根除草、芝刈、灌水、防除を含む。

市場単価の補正係数一覧表

2 下水道工事

名称	規格・仕様	補正係数 (通期の週休2日)
硬質塩化ビニル管設置工		1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01
砂基礎工	人力施工	1.02
砂基礎工	機械施工	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02
碎石基礎工	機械施工	1.02
組立マンホール設置工		1.02
小型マンホール工		1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00
取付管及びます設置工	取付管敷設 及び支管取付工	1.01

標準単価の補正係数一覧

土木工事

名称	区分	補正係数 (通期の週休2日)
区画線工		1.02
高視認性区画線工		1.02
橋梁塗装工		1.01
構造物とりこわし工	機械	1.02
	人力	1.02
コンクリートブロック積工		1.02
排水構造物工		1.02
鋼製排水溝設置工		1.02
表面被覆工 (コンクリート保護塗装)	固定足場	1.01
	高所作業車	1.01
表面含浸工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
連続繊維シート補強工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
剥落防止工 (アラミドメッシュ)	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
漏水対策材設置工	固定足場	1.02
	高所作業車	1.02
防草シート設置工		1.01
紫外線硬化型 FRP シート設置工 (ポリエス テル樹脂)	固定足場	1.01
	高所作業車	1.01
塗膜除去工		1.02
バキュームプラスト工		1.01
道路反射鏡設置工	設置	1.00
	撤去	1.02
仮設防護柵設置工(仮設ガードレール)		1.02
機械式継手工		1.02
抵抗板付鋼製抗基礎工		1.02
ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘 発目地設置工		1.01
FRP 製格子状パネル設置工		1.00
侵食防止用植生マット工(養生マット工)		1.02
支承金属溶射工		1.02
耐圧ポリエチレンリブ管(ハウエル管)設置工		1.02

